

高橋 美博 議員

自治会法人化へ市の支援を

Q 問 法人化のメリット・デメリットをどう考えているか。

A 答 自治会側のメリットは、不動産等の所有や権利を保全できること。行政側では、個人名義の土地について、市が寄附を受けるために必要な事務処理がなくなること等がある。一方、構成員すべての名簿を新たに整備するなど、自治会側の事務も加わってきた。

Q 問 市内の自治会の法人化状況はどうか。

A 答 現在176自治会のうち6%に当たる11自治会が法人化されている。なお、近隣市の法人化率は磐田及び掛川とも約24%で、本市よりも高い状況にある。

Q 問 今後どのように法人化を推進していくか。

A 答 自治会の法人化手続きがしやすくなるよう事務処理マニュアルの充実に努め、自治会連合会長会議や自治会長会議でその内容を説明しながら推進していきたい。法人化は財産管理が目的であるが、これを契機に自治会活動などがさらに幅広く展開されることをあわせて期待している。



法人化された平宇自治会の公会堂

芝田 禮二 議員

笠原地区の活性化と対策は

Q 問 農業振興地域の網を外す考えはないか。

A 答 農業振興地域を除外する特区認定の研究もしながら、地域とともに考えていきたい。

Q 問 小笠山山麓開発事業との整合と農振地域の除外の手法はあるのか。

A 答 小笠山山麓開発事業は、都市計画マスタープランの将来構想で、新開発地に位置づけている。地域との協議、検討を重ね、計画実現に向け取り組みたい。農村地域工業等導入促進法の適応も、一つの手法として有効な手段と考えている。

市3方式の学校給食の統一の考えは

Q 問 合併以降3年間検討してきた経過と結果はどうか。

A 答 学校給食センター運営協議会等で検討を重ねてきた。この結果をもとに、本年度中に今後の給食施設の整備方法や幼稚園給食と学校給食の方向性をまとめた給食施設整備計画を作成したい。



浅羽給食センター